

伊賀市外国人市民ワークショップ 全体発表の内容（まとめ）

項目	1グループ (中国、フィリピン、ブラジル) ※日本語が話せる方々	2グループ (ブラジル)	3グループ (ペルー)	4グループ (ベトナム)	5グループ (フィリピン)	共通する意見
①伊賀市に住んで良かったこと	<ul style="list-style-type: none"> ● お米がおいしい ● 自然が豊かである ● 人がやさしい ● 子どもでも外国人を助けてくれる人が多い ● いろいろな国籍の人がいて、多様な文化が集まっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心して暮らせるまちである ● 仕事がたくさんある ● 市役所が外国人をサポートしてくれる ● 外国人高齢者でも日本の介護制度を利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 景色がきれい ● やさしい人が多い ● 仲の良い人たちがたくさんいて心強い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車で移動しながら日本語を勉強できて助かっている ● 市内にスーパーが多く、買物しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全なまち、穏やかなまちである ● 伊賀日本語の会のオンラインクラスがある ● フィリピンの文化にふれたり伝えたりできる ● ダウン症のある子どもへの支援やサポートが充実している ● 日本で子どもを産み、育てられてよかった 	<p>人のやさしさや安心して暮らせる環境、日本語学習や外国人支援の機会、多文化にふれられることが共通して評価されている。</p>
②伊賀市に住んで困ったこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校でいじめがある ● 加害者ではなく被害者側が注意されることがある ● 会社でも外国人へのいじめがある ● 相談しても味方になってもらえないことが多い ● 電車代が高い ● 市内に大学がなく、若者が戻りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 病院に通訳がない ● 毎回不安な気持ちで病院に行かなければならない ● 24時間対応の薬局がない ● 土日祝に開いている病院などの医療情報が足りない ● 50歳を超えた女性には仕事が少ない ● 文化の壁があり、日本人と交流しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体的に情報が少ない ● 税金など、お金に関わる説明が十分でない ● バス・電車・タクシーが使いにくい ● 迷子のペットを探す相談先が分かりにくい ● 障害のある人へのサポートやバリアフリーが足りない ● 公園や子どもの居場所、塾などの情報が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ● バスと電車が少ない ● 花粉症がづらい ● 母国には花粉症がなく、日本で困っている ● 資格取得に大きなお金がかかる ● 派遣会社を通じた就労では有給休暇を自由に取りにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通の便が悪く、特に夢が丘で困る ● 物価が高い、給料が安い ● 介護の仕事は忙しいのに給料が安く、スタッフが辞めやすい ● 外国人として白い目で見られたり、スーパーなどで差別を受けたりする ● 病院で病状をうまく説明できない ● 学校でも先生とのコミュニケーションに困る 	<p>交通の不便さ、通訳不足や必要な情報の分かりにくさ、差別や交流の壁、仕事や生活面の負担感が共通した課題として挙げられている。</p>
③こんな伊賀市になったらいいな	<ul style="list-style-type: none"> ● 電車の本数を増やしてほしい ● 都会へのアクセスをもっと良くしてほしい ● 東京方面の夜行バスを復活してほしい ● 電車やバスの料金をもう少し安くしてほしい ● 公共交通機関の仕組みを統一し、分かりやすくしてほしい ● 外国人の子どもたちも将来の教育について知る機会があるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 銀行、郵便局、病院などで気軽に通訳してくれる人がいるとよい ● 外国人が地域で良いことをしている内容を紹介できる場があるとよい ● 高齢者にとって暮らしやすい物価になってほしい ● 高齢者は電車やバスが無料になるとよい ● 一人暮らしの外国人を見守る仕組みがあるとよい ● 仕事中に日本語を勉強する時間があるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ● ペットを譲り受けられる場所や施設があるとよい ● 健康になりたい気持ちを支える施設が増えるとよい ● 子どもが元気に過ごせる場所がほしい ● 電車やバスの本数を増やし、名古屋のように交通の便が良くなってほしい ● 病院でも通訳や翻訳があるとよい ● 看板をスペイン語や英語でも表示してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 税金がもう少し安くなってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ● スーパーでも英語の通訳がいるとよい ● 外国人コミュニティがあるとよい ● 外国人と日本人が平等に過ごせるまち、平等な給料が得られるまちになってほしい ● 障害のある人が遊んだり活動したりできる施設があるとよい ● 転入時に生活ルールの説明を受けられると分かりやすい ● 通訳を増やし、看板にも英語表記を入れてほしい 	<p>交通の改善や運賃負担の軽減、通訳や多言語対応の充実、外国人と日本人が交流・共生できる場づくり、生活に必要な情報や支援の分かりやすさが共通して求められている。</p>
④住みよい伊賀市にするために自分ができること	<ul style="list-style-type: none"> ● 多文化共生のFacebookをフォローして情報を確認する ● 良い情報をリツイートしたり知り合いに伝えたりする ● 伊賀市の良いところにもっと関心を持つ ● ボランティアに参加する ● 外国人の仲間たちに声をかけていく 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会に積極的に参加する ● ブラジルでしていた仕事や、自分ができることを日本でも教える ● ダンスができる人はダンスを教える ● 料理ができる人は料理を教える ● 日本語がわからない人に情報を伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ● ペルー料理を紹介する ● 伊賀のルールに従う ● ゴミを分別し、決められた日に出す ● 日本語を勉強する ● 日本人と交流し、話し合い、友達になりたい ● 学校給食などで他国の料理を知るきっかけを増やしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊賀で働き続ける ● 結婚して子どもを作りたい ● ルールを守る ● ベトナム料理やベトナム文化を日本人や他の外国人に紹介したい 	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動を積極的にする ● 自国の文化や歴史をシェアする ● 外国人をサポートする ● 新しく来たフィリピン人をサポートする ● 法を守る ● 国際交流や多文化共生のイベントに参加する 	<p>ルールを守ること、日本語学習や情報共有を進めること、自国文化を紹介して交流を広げること、ボランティアや外国人同士の支え合いを行うことが共通して挙げられている。</p>